

**公益社団法人 大阪府柔道整復師会**  
**第18回 少年少女柔道 河南大会**  
**実施要項**

- 1、主 旨 柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、  
柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に期することを目的とする。
- 2、主 催 公益社団法人 大阪府柔道整復師会
- 3、共 催 羽曳野市体育協会柔道連盟
- 4、後 援 羽曳野市教育委員会、大阪狭山市教育委員会、柏原市教育委員会、富田林市教育委員会  
藤井寺市教育委員会、松原市教育委員会、河内長野市教育委員会、太子町教育委員会  
河南町教育委員会  
大阪府柔道連盟、大阪府柔道道場連盟、大阪府柔道整復師協同組合
- 5、大 会 日 時 令和8年2月15日(日) 10時試合開始(受付9時~)
- 6、大 会 会 場 はびきのコロセアム メインアリーナ (羽曳野市南恵我之荘4-237-4) Tel:072-937-3123
- 7、参 加 資 格 大阪府内在住、在籍の団体に所属する小学3年生から5年生の男女  
参加人数は各道場、各学年5名までとする。  
(監督と出場選手は、全日本柔道連盟登録済みであること。)
- 8、試 合 方 法 ① 国際柔道連盟試合審判規定「少年大会特別規定」並びに本大会申し合わせ事項に準じて行う。  
② 「優勢勝ち」の判定基準は「技有」または「指導差2」以上とし、「指導差1」または同等な場合は  
僅差(旗判定)をもって勝敗を決する。  
③ 試合はトーナメント方式とする。  
④ 試合時間は2分間とする。  
但し、準決勝、決勝戦においてはロスタイル有りとする。  
⑤ 決勝戦は第二試合会場にて3年、4年、5年の順番で行う。  
⑥ 参加選手は必ず背部にゼッケンを付けること。無い選手は出場を認めない。  
⑦ その他不測の事態が生じた場合の処置は、審判長に一任する。
- 9、参 加 基 準 本大会は、令和7年度大阪柔整少年少女柔道大会(日整全国少年柔道大会大阪予選会)の  
予選会も兼ねるため、下記の参加資格に留意すること。  
① 令和7年度大阪予選の上位4名には、令和8年度大阪予選会の出場権を与えるため本大会には  
出場できない。  
② 各学年上位4名の者は令和8年度大阪予選会への出場権を与える。  
③ 本会主催の豊能少年少女柔道大会でベスト4以上の成績をおさめた選手は出場できない。  
④ 参加選手は必ず背部にゼッケンを付けること。無い選手は出場を認めない。
- 10、表 彰 優勝、準優勝、3位には賞状等を授与する。
- 11、参 加 費 500円／各一人
- 12、備 考 ① 参加選手は必ず保護者の承諾を得ること。  
② 本大会における負傷等については応急処置の他、主催者は一切その責を負わない。  
③ 大会当日、体調不良の者は出場しないこと。  
④ 審判会議を9時30分より行う。  
⑤ 次年度の「日整全国少年柔道大会」で試合ルール変更の可能性があります。
- 13、申 込 期 限 令和8年1月23日(金)
- 14、申 込 方 法 本会ホームページ(URL:<https://www.osaka-jyusei.or.jp/>)にアクセスして必要事項を記入の上、  
主催者までE-mail(jyudou@osaka-jyusei.or.jp)にてお申込み下さい。
- <注意事項>
- ・大会1ヶ月前以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
  - ・大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
  - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ・当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
  - ・監督・コーチの服装は審判員に準じた服装でお願いいたします。
  - ・駐車場が限られている為、公共交通機関をご利用下さい。
  - ・会場内では、換気やこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施して下さい。
  - また、当日体調がすぐれない人(発熱、咳、倦怠感等の症状など)は参加をお控えください。